総会フラッシュ

累計の施工実績 1万基の大台達成

ｓａｖｅ研究会

ｓａｖｅ研究会（会長＝荒川崇氏）は第17期通常総会を書面で開催し、２０１９年度事業報告・決算報告、令和２年度事業計画案・予算案を原案通り可決承認した。

任期満了に伴う役員改選では、荒川崇会長をはじめ全役員の再任を決めた。昨年度の油水分離桝ｓａｖｅの販売実績は６７４基（前期比２４０基、26・３％減）で、累計では１万89基となり、１万基の大台乗せを達成した。

総会開催にあたり、荒川会長は書面で「令和２年度の通常総会は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、皆様の安全と感染拡大防止を鑑み、書面による議案審議をお願いすることになりました。

２０１９年度のｓａｖｅとＰＣａ油水分離桝の実績は６７４基で、昨年度比では２４０基の減少となりました。内訳は、小型改良タイプを含めた新型油水分離桝が５４８基で全体の81・３％を占め、前期の77・８％に比べ３・５ポイント増加しました。基数は減少したものの、新型への発注移行が堅調に進んでいると思われます。

地域別では昨年増加した北海道、東北、北陸、中部地区で減少する一方、近畿、中国・四国、関東地区ではやや増加し、常磐自動車道、中部横断自動車道、東海環状自動車道、湯浅御坊道路で順調に実績を重ねる結果となりました。新型油水分離桝、小型改良は新設道路のみならず、管理事務所で供用中の高速道路でも採用が始まり、実績が増えています。

前回も報告しましたが、ＰＣａ油水分離桝に採用していたステップが、他社の防火水槽で破断する事案の発生を受け、当研究会ではＰＣａ油水分離桝に採用したステップの取替作業を可能な箇所から実施しています。昨年度もステップメーカーと継続的に作業を進めた結果、ＮＥＸＣＯ分がほぼ完了しました。自治体関係分は現場状況を考慮し、担当者と相談の上対応しています。本件では相当の労力と費用を費やしましたが、お客様にも快くご協力いただき、極めてわずかとは言え可能性のあった事故を未然に防止出来たこと、そして多大なご協力を頂いた会員社の皆様に改めて深く感謝申し上げます。

また最近、競合品の中にはＮＥＸＣＯの設計要領に合致しない設置事例も見受けられることから、油水分離桝の正しい選定の仕方をフローチャートにまとめました。ここに掲載の商品は全てＮＥＸＣＯ立ち合いの元で確認実験を行っており、点検や清掃等メンテナンスも容易な構造となっています。また、軽量で人力施工が可能なＦＲＰ製油水分離桝もラインアップに加えました。従来は難しかった橋梁等の設置場所にも、性能を確保したまま油水分離桝が取り付けられるようになり、より広くお客様のニーズにお応えできるようになりましたので販促資料として活用下さい。令和２年度の事業の一環として研修会も開催し、取扱商品の普及に努めますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

結びに会員各社の益々のご発展と、当研究会取扱商品の需要拡大を祈念いたしまして、ご挨拶とさせて頂きます」と述べた。

今期は営業、技術両部会の活動を中心に、会員社のＰＲ営業支援、地域ごとの市場調査・販売支援などに取り組む他、ＦＲＰ製油水分離桝を研究会商品としてラインアップする。また、11月に東京ビッグサイト（東京都江東区）で行われる「ハイウェイテクノフェア２０２０」への出展を予定している。

同研究会には、今年度から新たにヤマウ（福岡県）が準会員として入会し、会員社は15社（正会員12社、準会員３社）となった。

荒川会長

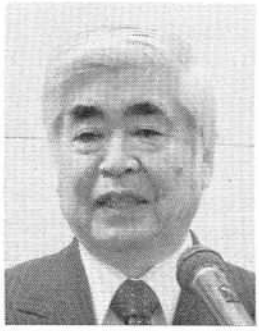
メンテ・レジリ２０２０に出展

ガーディアンブロック工業会

ガーディアンブロック工業会（会長＝矢野武志氏）は第３回通常総会を開催した。コロナウイルス感染拡大防止のため議案審議は書面で行われ、６月15日までに令和元年度事業報告・会計報告、令和２年度事業計画案・予算案が原案通り承認された。

今年度は新型コロナウイルス感染の収束状況を見極めた上で、各地区での意見交換会や技術講習会の開催を予定している。また７月29日からインテックス大阪（大阪市住之江区）で開催されるメンテナンス・レジリエンスＯＳＡＫＡ２０２０のｉ―コンストラクション推進展に出展するなど、ＰＲ活動や広告宣伝活動も展開する。

矢野武志会長は「本年度の通常総会は書面審議をお願いすることになりました。工業会の会員の皆様が一堂に会する、年に一度の場を設けることができず本当に残念です。新型コロナウイルスの感染拡大が収束した折には、それに代わる場として技術講習会を開催したいと思っています」と書面で挨拶した。



矢野会長

二羽淳一郎教授 新会長に就任

ＪＣＩ

日本コンクリート工学会（ＪＣＩ）は６月19日、同学会会議室（東京都千代田区）で第53回定時社員総会を開き、令和元年度事業報告・同計算書類報告、令和２年度事業計画・同収支予算を確認した。任期満了に伴う役員改選では、二羽淳一郎東京工業大教授を新会長に決定した。

二羽新会長は「ＪＣＩも年次大会や国際会議が中止となるなど、新型コロナウイルスの影響を受けている。これまで研究面でＪＣＩに関わってきたが、今後は会長として困難な状況に打ち勝ち、輝かしい活動を取り戻したい」と抱負を語った。今年度は▽実構造物の劣化予測における学術研究の役割とその成果の活用▽コンクリート構造物の構造・耐久性シミュレーションにおける検証と妥当性確認など５つの研究委員会を設置する。